

# 明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園子どものしあわせを願う会  
発行日/1996年6月28日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

21号

初夏。今年は、遠くの山々ではようやく雪が解けていっせいに花々が咲き乱れているという。都会の街にも緑の木々をぬけ、やさしい風が吹く時は幸せな気持ちになります。/"住専" "安保・沖繩" "消費税"と、国民の暮らしに直結する重大な内容が渦巻いた国会は閉会となりました。「どうして?」「なぜ?」と、多くの国民はその結論に納得できないのではないのでしょうか。/いじめ・登校拒否・不登校など、子どもと教育の深刻な現状に私たちは心を痛め、解決の道を求めています。6月18日、中央教育審議会は「今後の教育の在り方」について「審議のまとめ」を公表。①児童生徒数を欧米並に、②学校週5日制の完全実施、③総合的な学習時間の提言と、国民が関心を寄せる問題の具体的提案もあります。上からの大人のおしつけにならず、子どもたちといっしょにつくっていく学校であることを願う今日です。(H・N)

## 板橋区児童公園「子どもの池」が予算削減の対象に ふたたび署名運動で、子どもたちに「豊かな環境」を 開設期間復活署名2,013名集まる。しかし建設委員会(4/18)は不採択

板橋区児童公園「子どもの池事業」が始まって、そろそろ30年。現在の施設は区内39カ所。乳幼児はもちろん小学校低学年の子どもたちにとってもなくてはならない施設の一つです。今年度、残念ながら予算復活はできませんでしたが、暑さ厳しき折にはぜひとも開設期間の延長を！  
来年度以降についての予算復活を改めて要望し、ふたたび署名運動にとりくみます。みなさんのご協力よろしくお願いたします。  
\*新しい署名用紙を用意しましたので声をかけてください。(陽光保育園子どものしあわせを願う会)



**◆春の共育講座  
愛の子育て**  
参加者八七名。現代社会における子育ての悩み、難しさをふまえながら、具体的に楽しく、迫力のあるお話をお聞きすることができました。

講師・須長茂夫氏  
5月31日

感想から  
・「たてまえ」でない自分の「本心」と向かいあわなければ、迫られた気がします。  
・子どもに対する接し方(ことば、態度etc)、反省すべき点が多々あり、少しでも直し、実行できるようにがんばりたいと思います。  
・今年、長男が中学に入学。保育園—小学校—中学校とステップするごとに管理教育になっていることを肌で感じます。今日の話を子育てに生かし、息子二人と夫も含め、向きあつた生活を心がけていくことの大切さを痛感しました。

請願は、夏の「子どもの池」開設期間の復活を求めるものである。小さい子どもをもつ親ならば当然の要望であり、暑さ厳しければこの願いは悲鳴にも似た切望となる。この請願は開設期間短縮後からこれまでの、こうした父母の切望を集約的に現している。  
開設期間短縮をおこなった理由が財政的判断であったことは、委員会での理事者答弁で明瞭である。理事者自身が「他区と較べても誇れる事業」と評価している事業を、一律的なカットの対象にして良かったのかどうかの是非こそ、問われるべき問題である。  
他の委員が、管理・運営の大変さを強調し、削減の正当性を主張したが、問題のすり替えと言わざるを得ない。管理・運営に対する改善と援助策はそれぞれの実情にそって強化されねばならない。高齢化には世代交代の具体的手立てが求められ、バイトが集まらないのなら集まるための支援が必要である。ただし、開設期間短縮策で管理・運営の現状を实际的に改善することにはならないのである。  
財政難のもとにあつても、画一的な削減ではなく、削減すべきものと守るべきものとの峻別は区民要望にそって行うべきである。公園課が実施したアンケート(対象:こどもの池管理運営

協力会会長)の説明の中で、「現状以下ではかわいそうだ」という声が多かったことが紹介された。これは管理・運営の大変さを痛感している当事者からの、利用者の立場にたつた感想である。区に求められているのは、この利用者の立場から事業を見直すことなのである。  
以上の理由から委員会不採択に同意できない。  
日本共産党区議会議員 大田 伸一

**「子どもの池」予算復活に関する  
少数意見—4/18建設委員会**

建設委員会

| 党派            | 人員 | 賛否    |       |
|---------------|----|-------|-------|
|               |    | 1月18日 | 4月18日 |
| 自民党           | 3  | △     | ×     |
| 共産党           | 2  | ○     | ○     |
| 公明            | 2  | △     | ×     |
| 社民<br>板橋(委員長) | 1  | —     | —     |
| 民主クラブ         | 1  | △     | ×     |

賛成○ 継続△ 反対×

親子でいっしょにあそびましょう  
リズム、うた、散歩、砂あそび、赤ちゃん体操など  
子供たちがすこやかに育っていくためには、  
・どんな環境が必要なのでしょう。  
・どんな遊びが大切なのでしょう。  
・どんな育て方をしたらよいのでしょうか。  
保育園の仕事が少しでも地域のみなさんのお役に立てばと企画しています。お子さんと一緒に遊びに来てください。無料です。

【対象】0歳児～5歳児  
【場所】陽光保育園  
【時間】午前9時～11時  
●1996年度—年間予定  
7月11日(木) 9月11日(水)  
10月25日(金) 11月7日(木)  
12月20日(金) ……冬のつどい  
1月8日(水) ……新年もちつき  
2月6日(木)  
3月5日(水)  
●参加ご希望の方は、事前にご連絡ください。☎3956-1068

**園児募集中**  
●入園 いつでも受け付けています  
保育園は保護者にかわって  
お子さんを預り、保育します  
・保護者が家庭の外で働いている  
・保護者が家庭で家事以外の仕事をしている  
・保護者が病氣・出産・心身に障害がある  
・病人・心身障害者の世話をしている  
などのほか、心身に障害のあるお子さんの入園についてもご相談ください。お申し込みは区内福祉事務所、または保育園へ。

**陽光保育園を  
守り支えていきましょう**  
こんにちは、今年度から陽光保育園後援会会長を引き継ぐことになりました中川守と申します。日大前に引越してきたときは、仕事を口実に、子育ても町会の用事もみな妻に任せてしまおうとしていたのですが、生来のええかつこしいが災いして(?)子どものことを語りながらいろいろなことを引き受けていくうちに、こうなつてしまいました。しかし、それはまた私に、たくさん仲間と地元で溶け込むきっかけをも与えてくれました。それだけ陽光保育園が地域に密着した保育園だということなのかもしれません。  
陽光保育園が長い年月大切にしてきた地域とのよい関係は、卒園後の子どもたちばかりでなく親たちの生活にも大きく貢献しています。今後ともわたしたち後援会では、学習会、コンサート、落語会などを通じて人と人とのつながりを誠実に広めることによって、陽光保育園を守り支えていきたいと思えます。みなさん、よろしくお願致します。  
陽光保育園後援会会長 中川 守

**◆夏の交流会**  
主権:陽光保育園後援会  
日時:8月3日(出)4日(日)  
(場所) 鶴原海岸(千葉・外房)  
(参加費) 大人15000円 予定  
子供10000円  
詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。定員三五名ですので、お申し込みはお早めどうぞ。  
また、後援会では今年秋の交流ハイキングや落語会など予定しています。

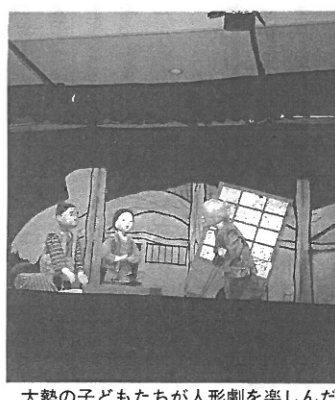
**◆春のつどい**  
4月21日  
オフィスやまいもの人形劇「びんぼう神と福の神」を公演(主催:父母の会、会場:仲町区民センター)。在園児、卒園児、そして地域の子どもたちもつどい、人形劇を楽しみました。

| 陽光保育園 | 定員 | 在籍 | 募集 |
|-------|----|----|----|
| 5歳児   | 18 | 16 | 2  |
| 4歳児   | 18 | 16 | 2  |
| 3歳児   | 15 | 11 | 4  |
| 2歳児   | 12 | 12 | 0  |
| 1歳児   | 10 | 10 | 0  |
| 0歳児   | 6  | 6  | 0  |
| 計     | 79 | 71 | 8  |

(6月1日現在/数字は人数)

**●廃品回収・ベルマーク**  
主権:陽光保育園父母の会  
廃品回収は本年七月末で終了します。地域の皆様には長い間ご協力いただき、心から感謝しています。尚、ベルマークは引き続き回収します。

**●夏のバザー**  
主権:陽光保育園  
(日程) 7月7日(日) am10時～pm2時  
(会場) 陽光保育園  
雑貨、衣類、本など、皆さんからの寄贈品の店と食堂、子どもコーナーを設置。楽しいバザーを企画しています。皆さんお誘いあわせのうえお出かけください。尚、寄贈品については持ち込みのみ受け付けますので、よろしくお願いたします。



大勢の子どもたちが人形劇を楽しんだ

夏はやっぱり

プールで遊ぼう

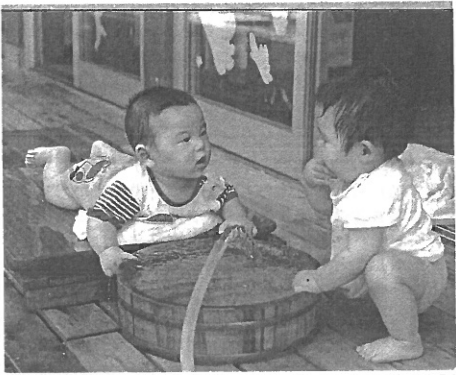
プール遊びについて

子どもたちはプール遊びが大好きです。0歳児の子どもでも、ベビーブールなどに水をためてあげると手でバシバシやったり、水道から流れる水に手をかざして遊んだり、0歳児も後半になると、頭からシャワーをかけても平気になります。

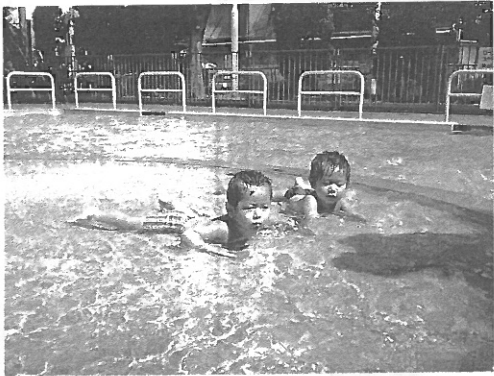
1歳児の初期は、膝のあたりまでつかるくらいの水での遊びが主になります。はじめは膝まで水に入り、バシバシやっていますが、だんだんお腹のあたりまでつかり、ついには身体全体を水につけるようになります。1歳児も後半になると、水の中に頭がつけられるようになります。

2歳児になると、膝を立てて身体全体を水の中に横たえ、ハイハイ歩きができるようになります。いわゆるワニ歩きです。それが進むと足を浮かしてワニ泳ぎができるようになります。次には顔がつけられるようになり、2歳児後半になると、水に浮いたり、潜ったりする子もでてきます。

そして3、4、5歳児になると、バタ足がついて身体を進めることができます。5歳児では10メートルのたらいで水遊び、バチャバチャとはずむ会話



ベランダのたらいで水遊び、バチャバチャとはずむ会話



怪獣公園の浅いプールはワニ泳ぎにちょうどいい

20メートルくらい泳げ、息つきもできるようにになります。

陽光保育園では、夏期は毎日水遊び、プール遊びを行います。0歳児はベランダのベビープールで、1、2歳児は屋上のプールで、時には近くのジャブ池(児童公園併設の「子どもの池」のこと)へ行って遊びます。大きい子たちは遠くのジャブ池まで足をのびして泳いでいきます。

ベランダでの水遊びから始まった水に接触すること、そして水の気持ちよさを知った子どもたちは、水を友達のようにして遊びます。それが発展していき、砂遊びのなかに水をとり入れて遊びはじめると、子どもの本能が水と土遊びにあるからです。

水はよい皮膚刺激になり、心を解放し、水泳は身体全体の運動機能を高めてくれます。幼児時代にぜひとも水に親しむ習慣をつくりましょう。夏が楽しみになります。

今回は、身近にあって気軽に行けるプールやジャブ池を特集しました(すべて無料)。それぞれ特色があり、いろいろな遊びが工夫できます。この特集を参考に、ぜひ今年の夏はあちこちのプールに行ってみましょう。

子育て1分×7

お鍋をこがしてしまったときは、アツと思ったときは後の祭、すつかりこがしてしまったお鍋。そんな経験はありませんか。

アルミ製の鍋だったら金属タワシにクレンザーをつけてゴシゴシなんて方法もあるけど、ホーロー製はそんなことをしたら一巻の終わり。そんなときは鍋がまだ熱いうちにスプーン一杯の重層と湯を加えてしばらくおき、スポンジですすってみてください。かなりとれるはず。また、こげた中身が油分の多いものは、天気の良い日に外に出して陽に当ててみてください。これを何度か繰り返すとアラツ不思議。こげた部分が自分で起き上がってくるではありませんか。

子どもの池・紹介

怪獣公園(大谷口児童遊園)

大谷口北町21-2

怪獣が口から水を噴水のように出している浅いプールと、大人の膝くらいまでの深いプールがあります。幼児から小学生むき。

日大病院正門前の坂道を下ってすぐ。

東山公園

東山町52-8

一つのプールが、せせらぎ、浅いところ、深いところと、三つの部分に分かれています。深いところは、小学生でも十分楽しめます。幼児から小学生むき。

ときわ台駅から川越街道に向かい、川越街道を渡ってすぐ。徒歩約10分。

板橋大山公園

栄町35-1

虎の口からざんざんと水が流れていて、夏になると虎の口から水が噴き出す大山公園のプール



夏になると虎の口から水が噴き出す大山公園のプール

●山中児童遊園 栄町32-1  
小さな浅いプールです。幼児むき。大山駅と中板橋駅の間くらい(線路ぎわ)。

●板橋交通公園 大山西町21-1  
ゾウのすべり台のある浅いプールと少し深めの円形のプールがありますが、小学生には浅く、幼児むきです。

●こども動物園(東板橋公園) 板橋3-50-1  
浅いから深いまで三つのプールがあります。中にすべり台もあり、広いので、幼児から小学生まで楽しめます。区役所から歩いて10分くらい。

有料のプールも利用しよう

高島平温水プール

高島平8-28-1

一年中泳げ、雨の日でも冬でもOKという室内プールです。一般用、児童用のほか、区内で唯一、4歳未満の子どもも入れる幼児用の温水プールがあります(ただし、おむつのとれた子どものみ)。

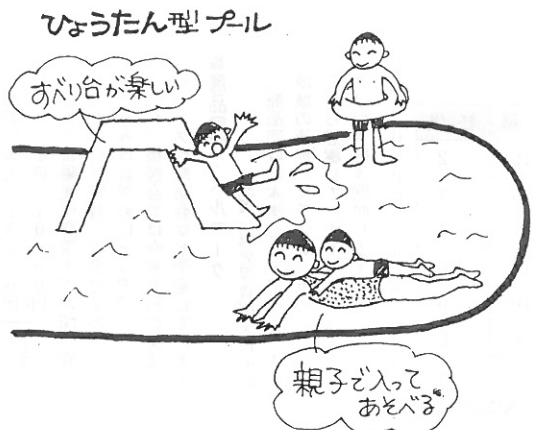
●幼児用プールの料金  
幼児 一四〇円(つり銭のないように)

保護者 無料

●持ち物 親子とも水着、水泳帽(忘れたら貸してもらえます)、浮輪(その他のオモチャは持ち込みできません)

交通 地下鉄都営三田線・高島平

駅下車。駅近くから体育館近くまで緑道がつづいていて、親子でのんびり歩いても10分くらい。プールの隣には熱帯植物館もあります(大人二〇〇円、未就学児無料)。



お父さんの出番です!



お母さんのいない夜

今日は妻が月一回の飲み会。自転車をこぐ足も軽やかに園へ向かう。「おかえりなさい」の母さんの声に振り向き勇気(息子)。が、その顔は「なんでお父さんなの?」と何とも淋し気。「ママは」の問いに「ママはお仕事。だから今日は父さんと勇気と二人でご飯食べて、お風呂に入って、いっしょに寝ようね」「うん、わかった」あつさりした返事にとまどいながらもホッと胸をなでおろし帰宅。夕食。いつもなら家族のコミュニケーションの場のはずが、この日はお父さんシオン。話もせずに、ひたすら食べる勇気。話すことといったら「ママは?」「お仕事」の繰り返し。ここで父と息子の関係をより深いものと、食後は思いきり遊んでやりました。しかし、普段二人で遊び慣れていたためかこちなく、どうしても妻が忘れられず、またまた「ママは?」の問い。「お仕事だよ」としか言えません。ああダメな父親だと思いつつ、何とか息子の気を引こうとあの手の手。「勇気、父さんと風呂入ろう」「うん」。元気のよい返事に少々安堵し、「お風呂出たらアイス食べよ。母さんに内緒だよ」「うん、わかったよ。やった!二人の秘密だ。こんなにうれしいことはなかったです。逆にいえば、食べ物でしかつれないわけで、妻はスゴイと改めて思います。

「ただいま」「ママだ!おかえり」。今までにない笑顔で迎え、うれし家で中走り回り妻をつかまえてお話三昧。ついでに内緒とあったアイスのことまでしっかり報告。くやしいやら淋しいやら、やはり妻には劣るようです。

いつかきつと妻にはない味で息子の心をつかみ、妻にうらやましがられるように努力すると決意するのでした。

2歳児クラス・田中勇気の父 田中健治

